



2023年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月5日

上場会社名 株式会社 吉番屋

上場取引所 東 名

コード番号 7630 URL <https://www.ichibanya.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 葛原 守

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 平尾 康能 TEL (0586) 81 - 0792

四半期報告書提出予定日 2022年10月11日

配当支払開始予定日 2022年11月18日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年2月期第2四半期の連結業績（2022年3月1日～2022年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第2四半期	22,874	4.2	1,317	10.2	1,642	△13.3	1,021	△32.8
2022年2月期第2四半期	21,954	2.3	1,195	11.7	1,895	52.8	1,520	124.2

（注）包括利益 2023年2月期第2四半期 1,478百万円（14.4％） 2022年2月期第2四半期 1,292百万円（54.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第2四半期	32.01	—
2022年2月期第2四半期	47.63	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年2月期第2四半期	42,386	30,843	71.9	954.84
2022年2月期	42,467	30,607	71.3	949.02

（参考）自己資本 2023年2月期第2四半期 30,477百万円 2022年2月期 30,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2023年2月期	—	40.00	—	—	—
2023年2月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年2月期の連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,200	4.8	3,050	6.8	3,510	△15.8	2,190	△25.0	68.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－
除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご確認ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年2月期2Q	31,926,000株	2022年2月期	31,926,000株
② 期末自己株式数	2023年2月期2Q	6,794株	2022年2月期	13,637株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年2月期2Q	31,914,920株	2022年2月期2Q	31,914,580株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、「添付資料」P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年3月1日～2022年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大や、ロシア・ウクライナ情勢に端を発する資源・エネルギー価格の高騰、急激な円安進行による輸入原材料価格の上昇の影響等から引き続き厳しい状況が続きました。

外食業界におきましては、まん延防止等重点措置が3月に全面解除となったことで、徐々に客足は回復してまいりましたが、物価上昇に伴う消費マインドの停滞や、新型コロナウイルス第7波等の影響による客数の下方圧力に加えて、原材料価格や物流費、光熱費等のさまざまなコストアップ要因もあり、さらに厳しい状況が続きました。

こうした状況のなか、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が228億74百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は13億17百万円(同10.2%増)となりましたが、経常利益は、営業外収益として計上した時短協力金等の補助金収入が3億5百万円減少したこと等から16億42百万円(同13.3%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、前年に特別利益に計上した投資有価証券売却益6億79百万円が当期は発生しなかったこと等から10億21百万円(同32.8%減)となりました。

出退店の状況につきまして、国内では、新規出店が8店舗、退店が10店舗あり、合計店舗数は1,257店舗となりました。海外では、新規出店が12店舗、退店が7店舗あり、合計店舗数は207店舗となりました。

当第2四半期連結累計期間における分野別の取り組み状況は、以下のとおりであります。

(国内店舗関連)

直営店とフランチャイズ加盟店(以下、F C店という)を合計した国内店舗の売上高は、全店ベースで380億21百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

また、前年は緊急事態宣言の影響で売上水準が低かったこと等から、3月下旬に営業時間短縮等の要請が全面解除となって以降は、徐々に客数は増加傾向にあり、6月の価格改定後も同様の水準を維持し、既存店売上高は同4.5%増となりました。

なお、月次ベースの推移につきましては、以下のとおりであります。

「国内店舗売上高」

(前年同期比増減率、単位：%)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	累計
全店売上高	△1.6	△2.1	2.7	6.8	7.0	8.1	3.4
既存店売上高	△0.5	△1.0	3.9	7.8	8.1	8.8	4.5
客数	0.4	△0.2	4.7	5.8	5.5	6.4	3.7
客単価	△0.9	△0.8	△0.8	1.8	2.5	2.3	0.7

(注) 店舗売上高は、直営店とF C店の売上高を合計したものであります。

店舗の取り組みといたしましては、引き続き配達代行の導入を推進するとともに、ココイチ公式アプリを使用したスクラッチキャンペーンや、各種コンテンツとのコラボキャンペーンを実施いたしました。

CoCo壺番屋のメニュー面につきましては、6月の価格改定に合わせて、「もっと食べやすく」「もっと気軽に」「もっと身近に」をテーマに、トッピングやライス量の選択肢を増やすなど、より多くのメニューからお選びいただけるよう注文方法を見直しました。期間限定メニューでは、引き続き「スパイス」をテーマに「彩り野菜とキーマのスパイスカレー」(3月～)や「スパイスカレーチキン夏ベジ」(6月～)を販売いたしました。

また、店舗のデジタル化の取り組みとして、お客様個人のスマートフォンから事前に注文と決済をおこなうことで、店舗での待ち時間を削減する「モバイルオーダー」や、レジ前でスムーズに支払いができる「キャッシュレス決済」の利用頻度向上に取り組んだほか、一部店舗では、客席からタッチパネルを使って注文できる「セルフオーダー」を導入いたしました。

(海外店舗関連)

海外店舗の状況につきましては、ゼロコロナ政策を維持する中国では、ロックダウンの長期化により売上は大きく落ち込みましたが、アメリカでは、コロナ前の水準を上回って推移する等、国ごとに状況は異なるものの、全店ベースの売上高は62億48百万円(前年同期比28.9%増)、既存店ベースの売上高は同11.8%増となりました。

(外販他)

外販事業につきましては、国内では23種類の新商品を含む77種類の商品が販売されました。また、キャンプブームと相まって、スポーツ・アウトドア用品を販売する株式会社アルペン様とのコラボカレーが好評をいただいております。その第3弾として「マイキャンプ スパイシーキーマカレー」を販売しております。

なお、当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は423億86百万円となり、前連結会計年度末比80百万円減少いたしました。このうち流動資産は225億46百万円となり、前連結会計年度末比1億78百万円増加いたしました。これは主に売掛金が5億15百万円増加したこと等によるものであります。また固定資産は198億40百万円となり、前連結会計年度末比2億59百万円減少いたしました。これは主に土地の売却に伴い土地が1億10百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は115億43百万円となり、前連結会計年度末比3億16百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が5億18百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は308億43百万円となり、前連結会計年度末比2億35百万円増加し、自己資本比率は前連結会計年度末の71.3%から71.9%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ5億22百万円減少し、168億97百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、10億87百万円(前年同期は24億72百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益15億72百万円の計上、減価償却費7億58百万円、減損損失67百万円の非現金支出費用があった一方で、法人税等の支払額10億20百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、4億16百万円(前年同期は1億81百万円の増加)となりました。これは、主に有価証券の償還による収入80億円や有形固定資産の売却による収入1億4百万円等があった一方で、有価証券の取得による支出79億98百万円や有形固定資産の取得による支出4億85百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、14億74百万円(前年同期は16億7百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払額12億75百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年4月6日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日2022年10月5日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,587,451	17,076,621
売掛金	2,685,529	3,201,102
商品及び製品	971,149	1,020,884
仕掛品	52,355	46,483
原材料及び貯蔵品	234,843	258,182
その他	836,502	942,968
流動資産合計	22,367,833	22,546,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,652,471	4,747,858
機械装置及び運搬具(純額)	692,365	634,767
土地	5,486,172	5,375,658
リース資産(純額)	933,398	833,417
その他(純額)	576,106	605,491
有形固定資産合計	12,340,514	12,197,193
無形固定資産		
のれん	267,775	245,460
その他	1,041,635	962,331
無形固定資産合計	1,309,410	1,207,791
投資その他の資産		
投資有価証券	402,100	395,770
繰延税金資産	1,196,561	1,169,795
差入保証金	4,592,379	4,618,549
その他	260,962	253,586
貸倒引当金	△2,420	△2,330
投資その他の資産合計	6,449,582	6,435,370
固定資産合計	20,099,507	19,840,356
資産合計	42,467,340	42,386,599

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,132,004	2,356,898
未払金	1,399,125	1,376,025
未払法人税等	1,107,443	588,481
賞与引当金	319,505	327,272
株主優待引当金	95,848	99,135
その他	904,475	1,059,705
流動負債合計	5,958,403	5,807,519
固定負債		
リース債務	603,018	463,108
退職給付に係る負債	1,075,141	1,108,093
長期預り保証金	3,630,726	3,564,013
資産除去債務	542,229	548,757
その他	50,064	51,706
固定負債合計	5,901,180	5,735,678
負債合計	11,859,584	11,543,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,503,270	1,503,270
資本剰余金	1,388,470	1,389,226
利益剰余金	27,104,944	26,850,067
自己株式	△65,253	△32,513
株主資本合計	29,931,431	29,710,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,516	70,115
為替換算調整勘定	305,715	712,428
退職給付に係る調整累計額	△26,057	△14,715
その他の包括利益累計額合計	354,173	767,827
非支配株主持分	322,150	365,522
純資産合計	30,607,755	30,843,400
負債純資産合計	42,467,340	42,386,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
売上高	21,954,610	22,874,883
売上原価	11,797,225	12,281,067
売上総利益	10,157,385	10,593,815
販売費及び一般管理費	8,961,815	9,275,838
営業利益	1,195,570	1,317,977
営業外収益		
受取利息及び配当金	33,930	5,880
受取家賃	423,160	433,014
補助金収入	525,325	219,429
その他	135,124	39,068
営業外収益合計	1,117,542	697,393
営業外費用		
支払利息	7,843	6,445
賃貸費用	346,886	346,096
その他	62,723	20,118
営業外費用合計	417,453	372,660
経常利益	1,895,658	1,642,710
特別利益		
店舗売却益	45,345	37,316
投資有価証券売却益	679,652	—
その他	—	2,560
特別利益合計	724,997	39,876
特別損失		
固定資産売却損	—	33,806
固定資産除却損	5,643	4,100
減損損失	243,385	67,450
関係会社株式評価損	—	4,932
特別損失合計	249,028	110,290
税金等調整前四半期純利益	2,371,627	1,572,296
法人税、住民税及び事業税	834,979	518,495
法人税等調整額	15,299	39,067
法人税等合計	850,278	557,562
四半期純利益	1,521,349	1,014,733
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,184	△6,883
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,520,164	1,021,617

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益	1,521,349	1,014,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△482,331	△4,401
為替換算調整勘定	240,222	456,968
退職給付に係る調整額	13,057	11,342
その他の包括利益合計	△229,052	463,908
四半期包括利益	1,292,297	1,478,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,271,821	1,435,271
非支配株主に係る四半期包括利益	20,475	43,371

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,371,627	1,572,296
減価償却費	718,728	758,105
減損損失	243,385	67,450
のれん償却額	34,027	22,314
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,940	2,149
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	72,464	49,263
受取利息及び受取配当金	△33,930	△5,880
支払利息	7,843	6,445
固定資産売却損益 (△は益)	—	31,246
店舗売却損益 (△は益)	△45,345	△37,316
固定資産除却損	5,643	4,100
投資有価証券売却損益 (△は益)	△679,652	—
関係会社株式評価損	—	4,932
売上債権の増減額 (△は増加)	△338,724	△484,173
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△81,681	△53,771
仕入債務の増減額 (△は減少)	220,857	198,872
長期預り保証金の増減額 (△は減少)	△73,378	△66,712
その他	198,190	41,084
小計	2,609,114	2,110,406
利息及び配当金の受取額	33,277	4,637
利息の支払額	△7,843	△6,445
法人税等の支払額	△162,106	△1,020,897
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,472,442	1,087,700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△160,455	△10,800
定期預金の払戻による収入	311,235	10,800
有価証券の取得による支出	△7,999,346	△7,998,756
有価証券の償還による収入	8,000,000	8,000,000
投資有価証券の売却による収入	692,113	—
有形固定資産の取得による支出	△349,894	△485,197
無形固定資産の取得による支出	△337,368	△84,995
有形固定資産の売却による収入	—	104,427
店舗売却による収入	58,920	60,129
その他	△33,578	△12,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	181,626	△416,829
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,276,679	△1,275,732
その他	△330,346	△198,689
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,607,026	△1,474,421
現金及び現金同等物に係る換算差額	129,060	280,883
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,176,102	△522,666
現金及び現金同等物の期首残高	15,511,182	17,420,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,687,284	16,897,888

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

国内外の店舗売上高及び出店の状況

① 「国内店舗売上高」 (前年同期比増減率)

(単位：%)

	第1四半期 (2022/3-5)	第2四半期 (2022/6-8)	当第2四半期累計
全店売上高	△0.4	7.3	3.4
既存店売上高	0.8	8.3	4.5
客数	1.6	5.9	3.7
客単価	△0.8	2.2	0.7

(注) 店舗売上高は、直営店とFC店の売上高を合計したものであります。

② 「海外国別売上高」 (前年同期比増減率)

(単位：%)

	第1四半期	第2四半期	当第2四半期累計
全店売上高	12.0	18.8	15.5
既存店売上高	7.4	16.1	11.8
連結子会社計	△7.7	△14.1	△11.0
中国	△22.8	△54.6	△38.5
イギリス	-	141.4	356.9
台湾	△10.9	14.6	△1.1
アメリカ	13.6	9.2	10.9
香港	△19.7	△6.1	△12.2
FC展開エリア計	26.4	65.2	44.2
タイ	30.1	112.2	62.9
韓国	17.3	29.7	23.7
その他FC展開エリア計	30.9	69.1	48.1

- (注) 1. 連結子会社は、該当会計期間である2022年1月から2022年6月までの実績であります。
 2. その他FC展開エリアは以下の国々であります。
 インド、アメリカ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、中国、ベトナム
 3. 算出にあたっては、為替の影響を除き計算しております。

③ 「既存店売上高の予想値との比較」 (前年同期比増減率)

(単位：%)

		第1四半期	第2四半期	当第2四半期累計
国内店舗	期初予想値	6.9	21.8	14.3
	実績値	0.8	8.3	4.5
	差異	△6.1	△13.5	△9.8
海外店舗	期初予想値	7.0	34.0	20.0
	実績値	7.4	16.1	11.8
	差異	0.4	△17.9	△8.2

(注) 予想値は2022年4月6日の決算短信で公表いたしました当期の業績予想の試算にあたって設定した数値であります。

④「国内業態別出店状況」

(単位：店)

	①新規出店数		②退店数		純増店舗数		2022年8月末 店舗数	
	内、直営		内、直営		①-②	内、直営		
CoCo壺番屋	7	4	9	5	△2	△2	1,225	122
パスタ・デ・ココ	-	-	1	1	△1	△1	27	3
その他	1	1	-	-	1	1	5	5
合計	8	5	10	6	△2	△2	1,257	130

- (注) 1. CoCo壺番屋では、直営店からF C店への譲渡を3店舗、F C店から直営店への譲受を2店舗実施いたしました。
2. 対象期間は、2022年3月～8月であります。

⑤「海外国別出店状況」

(単位：店)

展開エリア		①新規出店数	②退店数	純増店舗数 ①-②	2022年8月末 店舗数
連結 子 会 社	中国	2	1	1	51
	イギリス	-	-	-	2
	台湾	2	-	2	27
	アメリカ	-	-	-	5
	香港	1	1	0	9
F C 展 開 エ リ ア	インド	-	-	-	1
	タイ	5	1	4	49
	韓国	2	2	0	30
	アメリカ	-	-	-	4
	シンガポール	-	2	△2	5
	インドネシア	-	-	-	6
	フィリピン	-	-	-	10
	中国	-	-	-	6
ベトナム	-	-	-	2	
合計		12	7	5	207

- (注) 対象期間は、各国とも2022年3月～8月であります。